

人形に夢中になった熱い夏

～いいだ人形劇フェスタ2011～



今年のは放課後子ども教室の子どもたちもスタッフとして応援してくれました。大人に混ざり、大活躍してくれました。観

地区独自の企画の竜丘マラソン公演や、東日本大震災の被災地訪問公演費用に充てるためのチャリティー公演、各分館による地区公演が行われました。

今年度は、各分館の公演でもそれぞれの劇団とスタッフが一ツになり、公演を盛り上げていただきました。プレカーが上り、予定外の劇団の参加があったりと、



いいだ人形劇フェスタが八月四日から七日に飯田市内各地で行われ、竜丘でも十九劇団十三公演、観客数二千五百三十四人の参加があり大いに盛り上がりました。



発行所 飯田市竜丘公民館
編集人 竜丘公民館広報委員会
印刷所 龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,801人
男子 3,343人
女子 3,458人
世帯数 2,289戸
(23年8月末現在)

今年度は放課後子ども教室の子どもたちもスタッフとして応援してくれました。大人に混ざり、大活躍してくれました。観

今年度は放課後子ども教室の子どもたちもスタッフとして応援してくれました。大人に混ざり、大活躍してくれました。観

今年度は放課後子ども教室の子どもたちもスタッフとして応援してくれました。大人に混ざり、大活躍してくれました。観

今年度は放課後子ども教室の子どもたちもスタッフとして応援してくれました。大人に混ざり、大活躍してくれました。観

今年度は放課後子ども教室の子どもたちもスタッフとして応援してくれました。大人に混ざり、大活躍してくれました。観

有事の際に備えて

九月四日竜丘地区地震防災訓練が行われました。台風十二号の影響で時々激しい雨が降る中、午前八時、駿河湾沖を震源とする震度六強の緊急地震速報が発表されました。

九時十五分、竜丘小学校体育館の安全が確認され、避難所が設置されました。早速四基のエコスペース(区割り)の組み立てが行われました。



ブータン研修会開催

ここ数年、竜丘には多くの発展途上国の研修生が訪れていることは、新聞紙上でご存知のことと思います。では、なぜ今、いろいろな国の方たちが研修に訪れるのでしょうか。

ブータンの方たち八名が訪れ、公民館とは、そして公民館を通じた住民の地域活動を学び、実際の活動状況を視察されました。これから発展するブータンにおいて、いかに住民参加の開発を進めていくか熱心に研修されています。

ブータンの女性の民族衣装「キラ」を着せてもらう中学生

側から感じる幸せとは、また、そのキープポイントなどブータンではどのように実践されているのか興味深いお話でした。中でも、幸福度を測る指標として、時間の使い方「家族と過ごす時間」があることに私は大きな衝撃を受けました。忙しく過ごしている毎日、物が豊かであれば幸せと思う現在の日本において子育て中の家庭や老人世帯のことを考えた時、今一度何が幸福かを考えたいと思いました。セミナーのあと、地域活動サークルの「蕎麦の会」の皆さんの手打ちそばを参加者全員で味わいました。こうした地域サークルの方たちが力を貸して下さるのも公民館活動の良さだと思えます。こうして、海外の研修生を迎えるたびに現在の公民館活動や地域自治は住民協働で行

秋の気配が次第に色濃くなってきました。この時期家の周りで虫の織りなす声が秋の気配をいっそう感じさせてくれます。ところで人はなぜ虫の音を聴くと、癒されたり心地よく感じたりするのでしょうか。

| 委員会名等 | 自治会役員 | 氏名 | 委員会名等 | 自治会役員 | 氏名 |
|----------|----------|-------|------------------|-------|-------|
| 委員長 | 総務企画委員長 | 中平 龍興 | 安全委員会(生活安全部会長) | 委員長 | 三浦 廣美 |
| 副委員長 | 福祉健康委員長 | 今村 正道 | 安全委員会(交通安全部会長) | 副委員長 | 加藤 直樹 |
| 副委員長(会計) | 総務企画副委員長 | 原田 照子 | 福祉健康委員会(地域福祉部会長) | 委員長 | 今村 正道 |
| 総務企画委員長 | 総務企画委員長 | 中平 龍興 | 福祉健康委員会(健康推進部会長) | 副委員長 | 太田美代子 |
| 総務企画副委員長 | 総務企画副委員長 | 原田 照子 | 環境委員会 | 委員長 | 今村 康雄 |
| 総務企画副委員長 | 総務企画副委員長 | 小林 泉 | 環境委員会 | 副委員長 | 東海林幸代 |
| 総務企画副委員長 | 総務企画副委員長 | 大見 新一 | 公民館館長 | 館長 | 木下 和彦 |
| 総務企画副委員長 | 総務企画副委員長 | 高島 勝秀 | 公民館企画委員長 | 委員長 | 木下 雅義 |
| 総務企画副委員長 | 総務企画副委員長 | 長谷部 進 | 公民館企画副委員長 | 副委員長 | 伊東 正直 |

秋の気配が次第に色濃くなってきました。この時期家の周りで虫の織りなす声が秋の気配をいっそう感じさせてくれます。ところで人はなぜ虫の音を聴くと、癒されたり心地よく感じたりするのでしょうか。

多彩に織りなされる弦の調べ —ふるさとコンサート in 竜丘—

去る七月十八日に、ふるさとコンサートin竜丘が、京都市立芸術大学「あやめカルテット」を迎え、竜丘公民館ホールにて行われました。新しい試みとして竜丘コーラスとの共演もありました。

バイオリン二基、ピアノ、チェロからなる弦楽四重奏の多彩に織りなされる音色に、百人を超える参加者が酔いしれました。

ハイドン作弦楽四重奏曲四十一番「トットロ」など、第一楽章から始まり、パッヘルベル作カノンと、美しい音色が奏でられました。

今年度、新しい企画として、竜丘コーラスとの共演が行われました。あやめカルテットの皆さんも、「楽しみにしていました。」と一言添えられて、演奏が始まりました。

「浜辺の歌」の三曲が行われました。コーラスの皆さんも、弦楽器の伴奏で行うのは、初めてであったが、最初のうちは表情も硬かったのですが、演奏が進むにつれて、歌う事を楽し

ながら行っている姿がうかがえました。最後に参加者全員で、「ふるさと」を合唱して、コンサートが終了しました。

生の演奏で、弦楽器の音色を聞ける機会は、あまり無いと思います。まして、地元の公民館で行われる事は、大変に有意義な事です。このような企画の中に、小さな子どもたちが参加して、地域の方々と同じ音楽を聞ける事は、良い思い出として、残っています。

夏のひとつ、輝く陽光の光と、爽やかにふきぬける風のように多彩に織りなされる音楽を心ゆくまで楽しめたコンサートでした。

おひとり暮らしの高齢者交流会開催される
おひとり暮らしの高齢者交流会は、竜丘地区の「おひとり暮らし高齢者交流会」を九月六日に行いました。この催しは、七十五歳以上で一人暮らしをしている方々を対象に行っているもので、今年で三

回目となります。出席者は全員女性で二十五名でした。当日は、台風十二号の雨も上がり、久しぶりに晴れ渡った秋空となりました。会場となる売木村塩吹館までは、快適なバスでの小旅行となりました。

会場では、食事(昼食)、茶話会、ゲーム等を楽しんでいただきました。食事、茶話会では、知り合いの方と会話する人、一年ぶりに再会してお互いの健康を喜び合う人、付き添いの役員に日々の生活の様子を話している人等々で、会場内は楽しい雰囲気に包まれていました。

皆さんともお元気で、いろいろなサークルにも積極的に参加されている様子でした。高齢で一人暮らしをしていると引きこもりがちになって、健康も害するのではないかと心配していましたが、そう言った心配は無用でした。来年は男性の方の出席もお待ちしております。(福祉健康委員会 小林)

快挙!! 飯伊大会出場

分団長 伊藤 誠

竜丘地区の皆様におかれましては日頃より消防団活動に対するご理解とご協力ありがとうございます。

消防団は毎年春の終わりにから夏の始めの期間、操法技術大会に向けた訓練・練習を平日夜間、竜丘小グラウンドにて行っています。今年四月下旬の早い時期より訓練を開始しました。当初は団員も不慣れで動きも鈍く、ホース転延も弱々しく悲観的になりつつも、バ力になって反復練習して体に染み込ませていたのを思い出します。

去る六月十二日の分団大会を勝ち上がり、六月二十九日の飯伊大会ポンプ操法二部に挑みました。三十一日

以上出場、各分団各代表の代表、それぞれの対抗意識等プレッシャーがある中、日々の訓練を遺憾なく発揮し、三、四位に食い込み、とも見事に飯伊大会出場を決めました。(市大会、自動

車班、予防救護班・ラップ班もそれぞれの部に出場しました。飯伊大会の順位は二チームとも中間でしたが二チーム出場できたことは快挙です。来年以降も続ける事、さらに上を目指す事が大事かと思っております。



長野原班



時又班

それでも飲酒運転しますか

安全委員会学習会

安全委員会では、去る七月五日(火)に委員及び地区

委員を対象に五十名余りが参加して、学習会を開催しました。講師にはこの四月から着任した竜丘駐在所の金井巡査部長をお迎えし、地域の安全について、次のようなお話がありました。

一、空巣は昼間の発生が多く、ガラスを割って侵入されている。県外ナンバーや松本ナンバー以外の車が停まっていたら要注意。最近では、東日本大震災があつた影響で警察官も大量に派遣されているため、狙われている。

一、最近の交通事故は不注意が非常に多い。ワキ見

運転・ダロウ運転には要注意。子どもに対して、地域全体で関心を持ち、そして見守る。声をかけることも大切。いけない事は注意しましょう。

一、防犯カメラの設置により犯罪の発生率が全く違う。この地域で取り組めるものとそうでないものがありますが、一人ひとりが自覚を持って動くことが大切です。

また、飲酒運転による悲劇について、警察署長に宛てた一枚の遺書が紹介されましたが、とても感銘しましたので、皆さんにもご紹介させていただきます。

二人までその責任はあるのでしょうか。中略(被害者家族に被害者家族にとっては、ぼう大な金額を支払うように言われたようです。子どもたちは「おとうさんはどうしたの」なぜテレビが無くなくなったの「テレビが見たい」とせがみます。子どもたちは今、すやすや眠っています。これからお父さんのもとに行けるとも知らずに!!

署長さん、この小さな命を奪うばかな女とお呼びください。でも子どもを残したらあとの子どもたちの生活を考えると哀れでなりません。

親子三人でお父さんのもとに参ります。中略(皆さんは、どう思われますか。(安全委員会 林)

残念! 中止となつた水辺の楽校イベント

暑い日差しの中、子どもたちの笑顔と歓声、楽しい水辺の楽校の一日のはずが、台風十二号の上陸とともに中止となつてしまいました。

五月、七月、八月と三回の整備作業には、毎回数十人から数百人の多くの地域の方に協力いただき、特に三回目の作業では、草刈りの作業の後、親水路にたまった泥を流す作業をしていただきました。美しくなった親水路で、水辺の楽校の交流イベントを迎えるのもありがたいことです。

イベントは残念ながらも中止となつてしまいましたが、その後、竜丘小学校の一年生が、学校の授業で、ザリガニや小魚等の水中生物を捕まへに行き、また、三年生も水辺に訪れている姿を見かけました。このように水辺の楽校を有効に利用していただければ、とてもありがたいことです。

整備作業は水辺の楽校運営委員会を構成していただいている団体の皆様のおかげです。皆様の良い提案がありましたら、公民館までお寄せいただけたらと思います。

竜丘アレチウリ駆除に参加して

緑ヶ丘中学校 三年一組 宮内 和希

自分の住んでいる竜丘に、少しでも貢献するには?と、考えたときに、ぼくが一番最初に思い浮かべたのが、「竜丘アレチウリ駆除」への参加でした。

前回は参加していたので、作業についていたいたのですが、当日河原に行ってみると、予想を上回る草の量に驚いたのを覚えています。

その日は真夏日で、作業開始早々太陽が照りつけ、とても暑かったです。ぼくは、草を集めるのが仕事だったので、終わりの見

えない作業に正直ウンザリしました。しかし、終わってから作業をした辺りを見てみると、景色が一変し、その変わり方に作業をした達成感と満足感を得ることができました。参加して本当によかったと思います。

